

MUSEUM -1st ANNIVERSARY SPECIAL-

EVENT
2.7
(Sat)



スタアパとDDのレギュラーナイト！ ジャパニーズ・ハウスは止まらない！

昨春にはUKの世界的ハウス・レーベル< Defected>と日本人初となるアーティスト契約 (!) を結んだスタジオ・アパートメントの森田昌典。本場が認めたその実力だけでなく、人気面でも2000年代の潮流のひとつ、ジャパニーズ・ハウス・ムーブメントの中心人物としてファッション方面も巻き込んで圧倒的な支持を受けているのだ。

その森田昌典と盟友にしてこちらもシーンを超えて爆発的ヒットを放つDAISHI DANCE、

ヴィジュアルに世界規模の活動をみせるVJ WADAKEN、という豪華トライアングルによる世界-WORLD-でのレギュラー・パーティ「MUSEUM」がこの度1周年を迎えることに。「世界-WORLD- NO.1オシャレパーティとしてその存在感をアピールしている」ってんだから、「今夜は何着ていこうかなあ♪」なんてところから楽しんで、素敵な夜に繰り出そうじゃない！

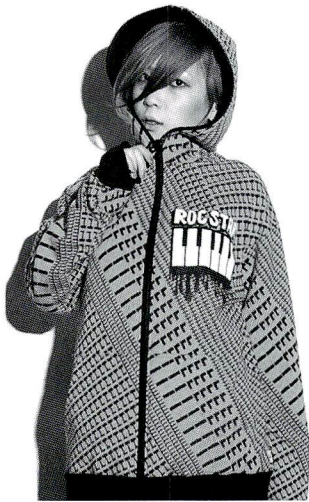
(中谷琢弥)

- MUSEUM -1st ANNIVERSARY SPECIAL-
- 2.7 (Sat) ■ OPEN 22:00~
- 前売り3000円/1ドリンク 当日3500円/1ドリンク
- 世界-WORLD-
- 京都市下京区西木屋町四条上ル真町97 イマージウムビル2F~B2F
- ☎075・213・4119
- http://www.world-kyoto.com

モモイロ

キュートな女の子DJがくれるのは、 チョコじゃなくてエレクトロ！

EVENT
2.14
(Sat)



フランスの<Kitsune>に<Ed Banger>、<Institubes>、オーストラリアの<Modular>などを頂点とし、ここ日本でも猛威を振るっているニューエレクトロ。ちょうど一年前の時点で「もう失速するだろう」と言われていたものの、08年を振り返ってみると東京ではDEXPISTOLS以降にも80kidzやTHE LOWBROWSといった新世代アクトのリリースが続き、その勢いはさらに大きくなったようだ。

その活況を呈する東京エレクトロ・シーンの

なかで活躍中のDJであり、トーキョー・ガールズ・エレクトロ・パーティ「XXX」のオーガナイズも行うKYOKOがバレンタインのLAB.TRIBEにゲスト出演するぞ。このニューエレクトロ・ムーブメントのおかげでクラブにU-25世代が一気に増えたのは嬉しいことで、この日もその多感な年頃がメインとなるはず。パーティの狂騒は、始まったばかりなのだ！

(中谷琢弥)

- 「モモイロ」
- 2.14 (Sat) ■ OPEN・START 22:00~
- 前売り2000円 当日2500円
- LAB.TRIBE
- 京都市中京区河原町二条交差点南西角B1F
- ☎075・254・1228
- http://www.labtribe.net

日本のナンバープレートは、欧米と比べて味気ないと揶揄されることが多かったが、地域振興や観光振興などの観点から、ご当地ナンバーが増えたり、自分の好きな番号を選べたり、オーナーの個性や茶目ついを演出できたりして楽しいものになってきた。「鈴鹿」ナンバーはいかに速そう(と思うのはF1ファンだけかもしれないが)、普通のセタンでも何となく道を譲ってしまったり、という具合で、他にも「伊豆」「堺」「富士山」などのご当地ナンバーは、それをいち早く発見することが、観光客の多い都大路を走る秘かな楽しみでもあるだろう。登録台数とエリア面積の関係上まず無理だろうが、「祇園」ナンバーなんてのができたら……と夢想の一つもしてしまう。

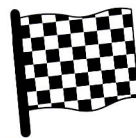
4桁の希望番号の並びを見て「なぜこの番号を選んだのか推測するのも、実は楽しい。希望ナンバー制度ができたのは、ひとケタやソロ目が入りやすかったが、目立ちすぎるという理由から最近では本人にしか意味が分からないような番号が多い。

味気ないナンバープレートの楽しみ方

例えば、車種を数字で表す(23 32)日産サニー、329803ミニクーパー)、気持ちいい数字で表す(30900)サンキョーサンキョー、29511福来い)、職業を数字で表す(3883)散髪屋さん、29883肉屋さん)、名前を数字で表す(510)後藤、708)なおや)などなど。「往年のポケベル会話いっしょ」ってなものだが、これも立派な「クルマへの愛着」である。「そもそもこのクルマに飽きてきた」という読者の皆様も、頭をひねって自分だけの粋なナンバーにしてみましたいかがだろうか。

Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~



20th Lap



© QUATRE ILLUSTRATION

中島 崇 (なかしま たかし)
68年生。京都府宇治市のソムリエ、創業昭和38年、北區は紫野の自動車屋(株)中島商会の二代目社長にして「安くていい車を探すとスキャンリスト」かつ自動車オークションの取引で200万円をトクに捨て、大失敗の連続から学んだノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を触れず」も好評、中島流車道家元を自指す京都人。

